

令和4年度 放デイくじらぐも自己評価表【事業者向け】（公表）

令和5年3月

	質問項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	回答に対する理解と対策
環境・体制整備について	(1) 利用定員が、教育・トレーニング活動等スペース（室内／室外）との関係で適切であるか	4	1	0	設置基準を満たして営業している。職員への周知を図る。
	(2) 職員の配置数は適切であるか	3	2	0	配置定数の基準を満たして営業している。職員への周知を図る。
	(3) 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	2	0	バリアフリー（身体障害者向けの施設設備）としては、十分でない部分もあるが、対象児の支援活動としては、ユニバーサルデザインの視点で見ると十分整備されていると考えている。今後もアップデートしていく。
	(4) 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせた空間となっているか	4	1	0	//
業務改善について	(5) 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	2	0	この事業所評価が業務改善PDCAの基点になり、日々の業務改善につながっていることを職員に周知徹底する。
	(6) 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2	0	//
	(7) 事業所向け自己評価及び保護者向け評価の結果を踏まえ、事業所としての自己評価から得られた支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の通信やホームページ等で公開しているか	3	2	0	実際、改善に必要な内容が掲載されていることを職員に周知徹底する。
	(8) 第三者（事業者、利用者以外の方）による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	1	//
	(9) 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	0	内部研修（On-JT）では日々専門性向上（子共・親理解、プログラム立案など）に努めており、外部研修（Off-JT）では、今年度一人サビ児管の研修を受けている。今後は、研修に関する周知を徹底していきたい。
適切な支援の提供について	(10) アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	4	1	0	アセスメント情報が、少なくとも多くても、情報リテラシーが問われる。妥当性信頼性の高い個別支援計画作成をさらに目指していく。
	(11) 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	0	「ASIST学校適応スキルプロフィール」を活用している。
	(12) 個別支援計画には、くじらぐも全体支援計画に示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	
	(13) 個別支援計画に沿った支援が行われているか	4	1	0	個別支援計画作成と同時に、サポートブックの運用や、サポートプロフィールの可視化を進めていく。
	(14) 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	
	(15) 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	0	固定化が必要な部分もある。活動名の固定化ではなく、アクティビティの目的やミッションの固定化に注意していきたい。
	(16) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	3	0	まだ、伸びしろがある。より良くなるという気持ちを忘れず、質の高い支援を求めていきたい。
	(17) 子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	3	2	0	個別支援計画は、大まかに表現した部分と、実際、実践に際しての細かな部分も含まれる。個別支援計画書の保つ意味の共通理解を図っていく。
	(18) 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	0	確実に日々実践できている。打ち合わせの精度については、KPT法で上げていっている。
	(19) 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	
	(20) 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	0	確実に日々実践できている。支援記録については、セルフサポートプロフィール作成に役立つ内容としていく。
	(21) 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	
(22) モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0		

関係機関や 保護者との 連携につ いて	(23) 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	
	(24) 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下课時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	2	0	保護者からの自主的な情報提供も増えてきている。特別時間割等への対応が円滑になってきている。
	(25) 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	0	服薬や、精神面のケアについては、今後も、保護者様を通じて、必要に応じて医療機関と連携を図っていく。
	(26) 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	1	今後の支援に必要な最小限の情報収集に努め、就学前の情報が必要な場合は連携を図る。
	(27) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4	0	まだ、このようなケースがないが、必要に応じて行っていく。
	(28) 他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	1	まだ、このような機会がないが、準備はできている。
	(29) 他の放課後等デイサービス事業所との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	0	コロナ禍で企画が困難であった。今後は、積極的に進めていきたい。
	(30)（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	0	コロナによる規制も緩和し、徐々に協議会も動き出した。積極的に参加をしていきたい。
	(31) 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	3	0	共通理解を図っているつもりでも、肝心な部分が共有できていない場合も多い。真に信頼していただける関係性を育てていきたい。
	(32) 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	1	スタッフから直接保護者にとという構図ではなく、親子プログラムを軸に共同活動を通して支援を行っている。
保護者への説明責任等について	(33) 契約時他、運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	0	契約時の説明は、内容量が多いため、コンパクトかつ重要事項についての確認が必要になる。要領よくお伝えできるよう努めている。契約後の再確認も重要と捉えている。
	(34) 放課後等デイサービスガイドラインの放課後等デイサービスにおける「基本的役割」ならびに「提供にあたっての基本的姿勢と基本的活動」を踏まえ、「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から計画書の同意を得ているか	4	1	0	放課後等デイサービスガイドラインとの関連付けについては、個別支援計画に明記している。
	(35) 必要に応じてあるいは定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2	0	「必要に応じて」「定期的（モニタリングや親子プログラムなど）」の範疇で支援できている。
	(36) 父母の活躍の場を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	0	具体的な方法として、OB会（仮称）などを準備中である。ピアサポートの場になることを期待している。
	(37) 子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	3	0	迅速な対応に心がけ、その都度最適と思われる方法で対応している。
	(38) 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2	0	
	(39) 個人情報に十分注意しているか	5	0	0	
	(40) 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	
	(41) 事業所の行事や活動に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	1	さらに地域に開かれた事業所を目指していく。
	非常時等の対応について	(42) 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	1
(43) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		5	0	0	
(44) 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		5	0	0	
(45) どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で個別支援計画に記載しているか		3	2	0	現時点で、身体拘束の対応が必要な利用児がいないが、個別の対応については保護者と共通理解を図る。
(46) 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		1	4	0	医師の指示書を仰ぐケースはまだない。現時点では、保護者からの情報で対応できている。
(47) ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0		
改善目標、工夫している点など（記述式）					